

授業科目名	解剖生理学			科目コード	F113-10				
科目区分	専門科目・栄養士専門基礎科目・ 人体の構造と機能		担当教員名	田淵 英一					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	解剖生理学実験					
関連科目	病理学								
資格等 取得との関連	栄養士免許・栄養教諭二種免許の各資格に必須								
授業の概要	人体を構成している各組織や器官の構造（解剖学）と機能（生理学）について知り、正しく理解する。また、様々な機能を持つ一個体が生体機能を維持するために、各器官がどのように機能分担して働いているかを理解する。これにより、ヒトを対象とする栄養学に必要な基本的医学知識および理解を獲得する。								
学習目標	栄養士として必要な人体の構造および機能の概要を知り、理解する。								
キーワード	解剖、生理、ヒト、遺伝、細胞、臓器、医学								
テキスト・ 参考書等	佐藤昭夫、佐伯由香著 人体の構造と機能 医歯薬出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人体を構成している各組織や器官の名称および機能を説明できる。								
LO-2	栄養士に関わる解剖生理学系の専門技術や技法を習得している。								
LO-3	分子・遺伝子レベル、細胞レベル、臓器レベルで、ヒトの成り立ちを考えることができる。								
LO-4	授業を通して、自分自身を含め、人間が自然の”理”の中で生きていることへの関心をもっている。								
LO-5	人体の構造と働き、さらには人間社会の成り立ちの基本がわかることにより、社会的能力の必要性がわかる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	40								40
LO-2	10								10
LO-3	30								30
LO-4	10								10
LO-5	10								10
備考	試験は記述式です。 身体の構造と仕組みについての知識度と理解度で判定します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	総論：ヒトはどのような存在なのか。進化論を基本として考える。 臓器：身体を構成している臓器の名称とはたらきの概要を理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	180分
第2回	細胞・組織：細胞や組織の維持に関わるホメオスタシスの概念、細胞の構造と仕組みを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第3回	遺伝子：遺伝子によるタンパク質合成の仕組みを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	180分
第4回	運動：神経系、骨格筋、骨格、関節の構造と機能の基本を知る。また、これら臓器により遂行される運動の基本を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第5回	神経系：神経系の分類、ニューロンの構造と働き、静止・活動電位について知る。 自律神経：交感神経および副交感神経の働きを知る。 脳：ヒトの精神的活動の多くを担う大脳皮質の機能の概要を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第6回	感覚：感覚刺激の種類、特徴を知り、感覚受容の基本的な仕組みを理解する。 聴覚、視覚：人間が持つ感覚のうち、とくに重要な聴覚および視覚の働きを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第7回	循環：心臓、血管系（動脈と静脈）、リンパ管の基本的構造と機能を理解する。 血液：血球成分（赤血球、白血球、血小板）および血漿成分の基本的な種類、構造、機能を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	180分
第8回	免疫：白血球のうち、リンパ球による働きを免疫という。その免疫の働きを理解する。 抗原抗体反応、血液型について理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	180分
第9回	体液の組成、水分の出納バランスの概要を理解する。 呼吸：呼吸系器官の基本的構造と機能を理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第10回	消化と吸収 1：関連臓器（口腔、食道、胃、小腸、大腸、膵臓、肝臓）の構造と機能を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分

第11回	消化と吸収2：食欲、味覚、摂食、消化・吸収という“食べる”仕組みを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第12回	栄養と代謝：栄養、代謝、および栄養と代謝の関係の概要を理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第13回	尿の生成・排泄：関連臓器(泌尿器：腎臓,尿管,膀胱,尿道)の構造と機能を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第14回	体温調節：皮膚および脳内視床下部の温度受容器による体温調節機構を理解する。 皮膚：皮膚の構造と働きを理解する。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分
第15回	内分泌：内分泌の担い手であるホルモンを生成する臓器の種類、構造、機能を知る。 性と生殖：性と生殖の意味、および生殖器の構造と機能を知る。	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	120分

授業科目名	官能評価論			科目コード	F151-23				
科目区分	専門科目 - フードスペシャリスト科目	担当教員名	深井 康子						
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	調理学 食品学	後継科目							
関連科目	フードスペシャリスト論 食品鑑別論								
資格等 取得との関連	フードスペシャリスト資格取得に必須								
授業の概要	フードスペシャリストとして必要な官能的な食品の評価法の技術や物理的な評価法を学ぶ。その理論を基にグループによる官能評価を手法に応じて実際に準備・計画し、結果を解析して発表を行い、理解を深める。								
学習目標	フードスペシャリスト資格認定試験の合格を目指して過去問題の傾向と対策を習得する。								
キーワード	フードスペシャリスト資格認定試験 官能的な評価法 物理的な評価法								
テキスト・ 参考書等	日本フードスペシャリスト協会編「食品の官能評価・鑑別演習」(建帛社)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	官能評価の基本的な知識と食べ物の物理的な性質を理解して的確に評価できる								
LO-2	基本的な知識をふまえて様々な手法を用いて実践できる								
LO-3									
LO-4	グループのなかで互いに協力し、問題を解決して積極的に参加できる								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		10			20			100
LO-1	70								70
LO-2			10						10
LO-3									
LO-4						20			20
LO-5									
備考	その他：Aは授業の態度・意欲などを総合的に評価する。 レポートには、コメントをつけて返却する。定期試験では答案を返却し、問題の解説を行い、特に誤答が多い設問では重点的に解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	官能評価の概要と基本、フードスペシャリスト資格認定試験の概要	
	【予習】テキストのp.3～12を読んで予習する	15分
	【復習】説明した内容を復習し、理解する	30分
第2回	官能評価の実施法、手法1：比較法の特徴と解析、手法2：順位法の特徴と解析	
	【予習】テキストのp.12～21を読んで予習する	15分
	【復習】説明した内容を復習し、理解する	30分
第3回	手法3：一対比較法、手法4：評点法、手法5：SD法の特徴と解析	
	【予習】テキストのp.22～30を読んで予習する	15分
	【復習】説明した内容を復習し、理解する	30分
第4回	認定試験対策1：第1回～第3回までのまとめ、認定過去問題とその解説 持参する	認定問題集を
	【予習】テキストのp.4～30までを読んで、過去の認定試験問題を解いてみる	30分
	【復習】過去問題で正解しなかった問題を再度解き、要点を復習し理解を深める	40分
第5回	食品の状態	
	【予習】テキストのp.59～63を読んで予習する	15分
	【復習】説明した内容を復習し理解する	30分
第6回	食品のレオロジーとテクスチャーとその必要性	
	【予習】テキストのp.64～69を読んで予習する	15分
	【復習】説明した内容を復習し理解する	30分
第7回	物理的性質の評価方法	
	【予習】テキストのp.69～78を読んで予習する	15分
	【復習】説明した内容を復習し理解する	30分
第8回	認定試験対策2：第5回～第7回までのまとめ、認定過去問題とその解説 参する	認定問題集を持
	【予習】テキストのp.71～94までを予習し、過去の認定試験問題を解き、問題点を明らかにしておく	30分
	【復習】過去問題で正解しなかった問題を再度解き、要点を復習する	40分
第9回	第1回～第8回までのまとめ、認定過去問題とその解説	
	【予習】テキストのp.60～85までを予習し、過去の認定試験問題を解き、問題点を明らかにしておく	60分
	【復習】過去問題で正解しなかった問題を再度解き、要点を復習する	60分
第10回	官能評価の実際1：五味の識別試験	
	【予習】テキストのp.7の五味の識別テストを読んで予習する	15分
	【復習】自分の五味の識別テスト結果を把握し、今後の嗜好評価で活かすようにする	30分

第11回	官能評価の実際2：グループによる官能評価の準備・計画	
	【予習】テキストのp.12～30を予習する	15分
	【復習】準備・計画を立てた方法が予定どおり実施できるか、確認する	30分
第12回	官能評価の実際3：グループによる比較法を実施する	
	【予習】テキストのp.12～17を読んで予習する	15分
	【復習】実施した比較法の結果をまとめ、解析を行う	30分
第13回	官能評価の実際4：グループによる順位法を実施する	
	【予習】テキストのp.17～21を読んで予習する	15分
	【復習】実施した順位法の結果をまとめ、解析を行う	30分
第14回	グループによる官能評価結果のまとめ、発表	
	【予習】第12回、第13回で実施した結果をグループで整理し、発表の準備をする	15分
	【復習】全体のグループ発表を聞いて自分のグループの良かった点、改善すべき点を整理し、レポートをまとめる	30分
第15回	ビデオ視聴：うま味発見	
	【予習】うま味とは何か、について調べる	15分
	【復習】官能評価全般について教科書により基礎的な知識を復習し、レポートを完成させる	30分

授業科目名	保育の心理学			科目コード	C121-11				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理	担当教員名	山川 賀世子						
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育の心理学	後継科目							
関連科目	教育心理学 幼児理解と教育相談 、								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許・保育士資格								
授業の概要	人の心の発達について、乳幼児期を中心に広く学んでいく。発達心理学の基礎知識の習得に加え、それらをふまえて「保育・教育現場で、自分自身が子どもにどのように関わるべきか」を学生自身が常に問い続け、考え続けることを重視する。								
学習目標	人の心、特に、保育の対象（乳幼児）となる子どもの心について理解する。そのために、乳幼児期に焦点をあてながら、発達心理学の主要領域を概観し、基礎的理解を深めることを目的とする。								
キーワード	発達心理学、乳幼児、保育								
テキスト・ 参考書等	毎回プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	保育現場で子どもに関わる際に必要となる、子どもの心の仕組みや働き、その発達のプロセスをきちんと理解していること。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	100								100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】シラバスを見て、授業内容を確認する。	15分
	【復習】オリエンテーション内容を振り返り、半期間の授業予定を確認する。	15分
第2回	親としての発達	
	【予習】子どもの誕生から自立までに、親の側にはどのような変化があると思うか、考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習し、授業内容を踏まえた上で、子どもの発達に伴う親の側の変化について、自分なりにまとめる。	120分
第3回	親の役割	
	【予習】幼い子どもを持つ親の役割にはどのようなものがあると思うか、考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習し、授業内容を踏まえた上で、幼い子どもを持つ親の役割について、自分なりにまとめる。	120分
第4回	保育士の子どもへのまなざし	
	【予習】特になし	0分
	【復習】プリントの内容を復習し、授業内容を踏まえた上で、保育士の子どもへのまなざしの子どもに与える影響の大きさについて、自分なりにまとめる。	150分
第5回	他者の心の理解の発達	
	【予習】人の気持ちがわかる子どもに育てるためには、どのようなことが必要だと思うか、考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第6回	道徳性の発達	
	【予習】「道徳」の意味を調べ、子どもの道徳性を育てるためには、どのようなことが必要だと思うか、考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第7回	言葉の発達と文字の獲得	
	【予習】子どもが言葉を獲得するためには、どのようなことが必要だと思うか、考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第8回	あそびの発達	
	【予習】「あそび」の意味を調べる。また、幼い頃に楽しく行ったあそびに、どのようなものがあるか、またそれらはなぜ楽しかったのか、まとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第9回	仲間関係	
	【予習】子どもにとって、仲間とはどのような意味があると思うか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第10回	ジェンダー意識の発達	
	【予習】「ジェンダー」の意味を調べる。また、「女の子らしさ」、「男の子らしさ」とは、それぞれどのようなことであると思うか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分

第11回	子どもをとりまくメディア	
	【予習】特になし	0分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	150分
第12回	自己の発達	
	【予習】特になし	0分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を行う。	195分
第13回	親子関係（4つの愛着の型）	
	【予習】特になし	0分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を行う。	195分
第14回	親子関係（愛着の型を規定する要因とさまざまな愛着研究）	
	【予習】特になし	0分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を行う。次回の質問時間に向けて、自分のわからない部分を整理する。	195分
第15回	総まとめ・最終テストに向けての質問	
	【予習】テスト範囲となるところを中心に、これまで学んだことをしっかりと理解しておく。	420分
	【復習】これまでの授業を振り返る。	120分

授業科目名	児童社会			科目コード	C111-21				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育	担当教員名	高木 三郎 梅本 恵						
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	保育原理 教育原理 児童家庭福祉 社会的養護	後継科目							
関連科目	保育者論 相談援助								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもを取り巻く社会環境における現代的なトピックをとりあげ、その現状と課題について考える。また、そのような社会の中で、子どもの人権・福祉が守られ、心身ともに健やかに育つために必要とされる、教育・福祉に関する理念や法制度、さらには行財政の仕組みなどへの理解を深める。講義の中には外部講師による解説や、グループによる課題探究活動、討議・発表を織り込む。								
学習目標	保育者として、現代の子どもを取り巻く社会的問題への総合的な認識を深めるとともに、個々の問題への解決力を身につける。								
キーワード	法・制度 人権 福祉 社会的弱者 子ども								
テキスト・ 参考書等	資料プリント								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	幼児教育をめぐる社会情勢や子どもをめぐる理念・法制度についての専門的な知識を持っている。								
LO-2	社会にかかわる専門的な知識を子ども・保護者支援に活かすためのコミュニケーション技術や、専門的な技能を持っている。								
LO-3	子どもや幼児教育をめぐる社会情勢について、体系的・論理的に考察し、その課題を自ら設定・解決することにより、保育にかかわる実践力を身につけている。								
LO-4	子ども・子育てをめぐる社会情勢に関する高い興味・関心を持ち、社会のニーズ・問題点を意識した保育・教育実践に主体的にかかわろうとしている。								
LO-5	子どもや社会的弱者・少数者への共感に基づいて、協働・共助の社会、持続可能性に満ちた地域の形成者としてありつづけようとしている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	60		20				100
LO-1		20	20						40
LO-2			20						20
LO-3			20		10				30
LO-4					5				5
LO-5					5				5
備考	提出物、レポート等については、成績評価やコメントを付して返却する、解答例や解説を配布する場合もある。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	子どもと法・制度 1 子どもをとりまく法と制度（子どもの権利や保護にかかわる条約、宣言、法令などを体系的に取り上げるとともに、それらに伴う具体的な制度について概観する。）	
	【予習】分担して、指示された法令をコピーし、その要点を個々でまとめる。	40分
	【復習】幼児教育の基本理念を条約・宣言などに照らしてまとめ、レポートする。	50分
第2回	子どもと法・制度 2 新しい保育・幼児教育制度（国の子ども・子育て支援政策のなかで取られている、具体的な幼児教育の量的拡大、質の向上について理解を深める。）	
	【予習】新しい子ども・子育て支援制度にかかわる新聞記事を切り抜き、その要点をまとめる。	40分
	【復習】子ども・子育て支援策のねらいと内容を箇条書きにする。	50分
第3回	子どもと法・制度 3 富山市の子ども支援策（講話を聞き、富山市の保育の重点施策や特色ある取り組みについて理解を深める。）	
	【予習】富山市のHPから子ども子育て支援策の方針と特徴的な内容を調べ、まとめる。	40分
	【復習】講話の内容をレポートする。	50分
第4回	子どもと危機管理 1 子育て事故・クレーム社会（幼児教育をめぐる事故の実際や、法的な対策、防止策について理解を深める。また、幼児教育をめぐるトラブル・苦情への対応についての理解を深める。）	
	【予習】保育事故にかかわる新聞記事を切り抜き、その要点をまとめる。	40分
	【復習】保護者と子育てを共有する保育者のあり方について仲間と意見交換をする。	50分
第5回	子どもと危機管理 2 防災対策（洪水、地震、津波などの災害への対応事例を考察し、安心・安全の場としての保育所のあり方について理解を深める。）	
	【予習】東日本大震災での保育所・学校の対応について文献で調べ、まとめる。	50分
	【復習】幼児教育施設の安心・安全および保育者のあり方のテーマでレポートする。	50分
第6回	子どもと危機管理 3 富山県の危機管理（講話を聞き、富山県の危機管理対策について理解を深める。）	
	【予習】富山県のホームページから危機管理対策について調べる。	40分
	【復習】講話の内容をレポートする。	50分
第7回	こどもと人権 1 ジェンダーと性的マイノリティー（保育の場におけるジェンダーについて、事例を上げて考察する。また、多様性を尊重する社会のあり方、保育のあり方について理解を深める。）	
	【予習】ジェンダー、性的マイノリティーに関する新聞記事を探す。	40分
	【復習】仲間とのディスカッションを経て得られた感想をまとめる。	30分
第8回	こどもと人権 2 性的マイノリティーに関わる講話を聞き、共生社会について考える。	
	【予習】配布された資料を読み、問題意識を持って講話が聞けるようにしておく。	30分
	【復習】講話の内容を受けて、気付きと学んだことをレポートする。	40分
第9回	子どもと家庭・家族 1 多様化する家族と子ども（子どもを取り巻く保護者の問題に目を向け、ひとり親家族、夫婦別姓など多様な家族のあり方を理解する。）	
	【予習】配布された資料を読んでおく。	30分
	【復習】授業で配布された資料とプリントを見直し、整理する。	40分
第10回	子どもと家庭・家族 2 選択的夫婦別姓に取り組んできた方の講話を聞き、男女共同参画社会について考える。	
	【予習】配布された資料を読み、問題意識を持って講話が聞けるようにしておく。	30分
	【復習】講話の内容を受けて、気付きと学んだことをレポートする。	40分

第11回	子どもと家庭・家族 3 不登校・引きこもりの支援（NPO法人の講話を聞き、インクルーシブ社会の実現について考える。）	
	【予習】配布された資料を読み、問題意識を持って講話が聞けるようにしておく。	0分
	【復習】講話の内容を受けて、気付きと学んだことをレポートする。	0分
第12回	テーマ別探究 次の4つのテーマから1つを選び、班別学習で理解を深め発表する。 1 児童虐待（虐待の現状、その原因、防止の手立てなどを事例を上げて考察するとともに、法令での扱いを確認・理解する。 2 子どもの貧困化（格差社会、貧困がもたらす子どもへの影響、貧困の連鎖・循環などについて具体例を上げつつ考察するとともに、不平等社会の実現を目指す社会のあり方	
	【予習】各テーマについての新聞切抜きを探す。	40分
	【復習】班別学習の分担や資料、方向をまとめる。	50分
第13回	テーマ別探究 選択したテーマに基づいて、発表用の資料を検索、整理する。	
	【予習】必要な資料を探す。	40分
	【復習】班別学習の結果を整理し、まとめる。	50分
第14回	テーマ別探究 班内討議 発表用原稿をまとめる。	
	【予習】前回の班別学習を踏まえ、さらに必要な資料を探す。	50分
	【復習】発表原稿を完成させ、情報機器を用いた発表に備える。	100分
第15回	テーマ別探究 テーマ別発表会 発表用資料を整理するとともに、班ごとに探究成果を発表する。	
	【予習】発表の練習をする。	50分
	【復習】発表資料をファイルに整理し、レポートをまとめる。	100分

授業科目名	経営管理論			科目コード	M112-13				
科目区分	専門科目 - 経済・経営科目 - 経営		担当教員名	木元 清明					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	経営学の基礎		後継科目						
関連科目	日本経済論 金融論 マーケティング演習 経営学特講								
資格等 取得との関連	上級ビジネス実務士()、上級情報処理士()、ウェブデザイン実務士(-)、 ビジネス実務士()、情報処理士()								
授業の概要	企業は「ヒト」「モノ」「カネ」という経営資産に加えて「情報」を活用しながら、その組織の効率的な目標達成に向けて調整・統合を繰り返しています。つまり、経営資源をバラバラに活用するのではなく、いかに上手く組み合わせるのかによって企業の業績は大きく左右されるのです。この授業では、1年前期で学習した「経営学の基礎」をベースにして、経営資源の各分野における管理および統合戦略の知識を詳細に学びます。難しそうな用語が出てきますが、実際の実例を紹介しながら平易な言葉で授業を進めます。								
学習目標	現代企業の経営管理を学説や事例を通して学ぶことにより、経営学や経営管理が企業経営において果たす役割について理解すること								
キーワード	組織構造、個人と集団、戦略論、リーダーシップ								
テキスト・ 参考書等	テキスト： 塩次喜代明・高橋伸夫・小林敏男（2012） 「経営管理」 有斐閣アルマ 参考図書：								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解力】 経営管理に関する基礎用語と基礎理論を理解し、試験とレポートで正しく答えることができる								
LO-2	【技能・表現力】 講義と自学習で理解した内容を、Webコメントやレポートで論理的かつ的確に論述することができる								
LO-3	【思考・判断力】 経営管理を取り巻く諸問題を発見し、基礎理論から分析した結果をWebコメントやレポートに反映できる								
LO-4	【関心・意欲・態度】 経営管理や企業活動に関心を持ち、問題点や事例の情報を収集し、Webコメントやレポートに反映できる								
LO-5	【人間性・コミュニケーション力】								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		40						100
LO-1	20		10						30
LO-2	10		20						30
LO-3	20		5						25
LO-4	10		5						15
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」： 授業方針の説明 シラバス、ルーブリックを把握して成績評価方法を理解する 本科目の概要と基本用語を理解する	
	【予習】シラバスを読み授業内容を把握	30分
	【復習】授業の全体像を確認する	60分
第2回	「経営の誕生と経営管理」 現代の企業社会とはなにか 企業の発展と経営管理	
	【予習】教科書を13ページまで読んでおく 日本の経済規模（GDP）や企業数がいくつあるかを調べてみる	60分
	【復習】経済発展の鍵を握るのは企業活動であり、企業が経済活動の主体であることを理解する	60分
第3回	「管理の生成と発展（第一回）」 管理の時代 近代企業の登場と、企業における所有と支配の分離 財閥の形成と解体および企業集団の形成と、企業合併・買収のブーム	
	【予習】教科書16ページから41ページまで読んでおく 財閥という存在について関連図書やネットで情報を集めてみる	60分
	【復習】専門経営者の登場について歴史的背景を参考にしながら時間軸で理解する	60分
第4回	「管理の生成と発展（第二回）」 経営管理の発展 資本主義と企業の発展 経営管理の諸理論	
	【予習】教科書42ページから62ページまで読んでおく アダム・スミスの「国富論」について関連図書やネットで調べてみる	60分
	【復習】企業の生産性と創造性をより深く探求する理論として経営管理論が出現した経緯を理解する	60分
第5回	「環境適応の管理（第一回）」 組織のデザイン 機能別組織と事業部性組織の登場 日本型組織デザインと組織の横連携	
	【予習】教科書64ページから89ページまで読んでおく 自分が興味を持つ大企業のHPをみて、その企業の組織構造がどうなっているか調べてみる	60分
	【復習】企業の発展に連動して企業内部の組織構造は大きく変わっていくことを理解する	60分
第6回	「環境適応の管理（第二回）」 経営戦略 戦略と組織の適合性と企業ドメインの設定 競争戦略とグローバルな展開	
	【予習】教科書90ページから114ページまで SWOT分析やPPMという手法について関係図書やネットで調べておく	60分
	【復習】経営戦略は企業経営の指針であることを理解する	120分
第7回	「環境適応の管理（第三回）」 資源の管理 企業経営の経営資源である「ヒト」「モノ」「カネ」+「情報」の4要素のシステム化と管理	
	【予習】教科書115ページから137ページまで読んでおく 企業経営における「資源」とは何かを調べておく	120分
	【復習】企業経営にとって「資源」の確保がいかに重要であることを再確認する	90分
第8回	「環境適応の管理（第四回）」 組織間関係の管理 グローバルなメガ・コンペティション状況と日本におけるこれまでの組織間関係 戦略的提携の諸形態	
	【予習】教科書138ページから162ページまで読んでおく M&Aに関して関係図書やNETで調べてみる	60分
	【復習】日本企業の戦略的提携の背景と課題を理解する	60分
第9回	「変革の管理（第一回）」 モティベーションと組織活性化 企業という組織を支える人的要因（金銭報酬だけでは説明できない従業員のモチベーション維持と向上） 組織の活性化	
	【予習】教科書164ページから187ページまで読んでおく 人が企業で働く際に、どのような要因で「やる気」を持つのか、あるいは失うのかを考えてみる	60分
	【復習】企業という組織を支えているのは従業員であり、その「やる気」の維持発展が業績拡大への最大のポイントであることを理解する	60分
第10回	「変革の管理（第二回）」 経営のリーダーシップ リーダーの資質と役割行動 経営ミドル層のリーダーシップとトップのリーダーシップ	
	【予習】教科書188ページから207ページまで読んでおく 企業だけではなく、組織のリーダーに求められる資質を考えてみる	60分
	【復習】リーダーの資質と行動が企業の活力と創造性を生む源泉であることを理解する	60分

第11回	「変革の管理（第三回）」 企業文化の創造と変革 企業にも人の個性と同じような「固有の文化=企業文化」がある（事例の紹介） 企業文化の4つの類型	
	【予習】教科書208ページから226ページまで読んでおく 自分が興味を持っている企業の「社是」、「経営理念」、「経営哲学」、「経営行動基準」、「経営標語」などについて、その企業のHPなどを利用して調べてみる	60分
	【復習】企業には企業文化とい「見えざる秩序と構造」があり、この概念が企業を特徴づけていることを理解する	60分
第12回	「現代の経営管理と展望（第一回）」 日本の経営管理 日本的経営の特殊性	
	【予習】教科書228ページから254ページまで読んでおく 終身雇用について関係図書やネットで調べてみる	60分
	【復習】日本の企業における経営管理には日本文化に根ざした特殊性があるが、グローバル時代との整合性に関して理解する	60分
第13回	「現代の経営管理と展望（第二回）」 グローバル戦略 企業の多国籍化 グローバル経営	
	【予習】教科書255ページから274ページまで読んでおく 多国籍企業とは自国のみならず複数の海外拠点をもって活動している企業であるが、日本の代表的企業を取り上げてホームページなどから海外拠点展開の状況を調べてみる	60分
	【復習】著名企業の多国籍化とグローバル化について理解する	60分
第14回	「現代の経営管理と展望（第三回）」 育てる経営の管理 管理から経営へ 育てる経営	
	【予習】教科書275ページから最後まで読んでおく 今までの授業を振り返って、これからの企業に必要な管理について問題点と課題を考えてみる	60分
	【復習】今までの授業の総復習を行い、理解の浅い部分について再学習する	120分
第15回	「授業のまとめ」 重要ポイントのまとめ 試験対策	
	【予習】試験対策のまとめ	120分
	【復習】定期試験にむけて、重要ポイントをすべて振り返る	180分

授業科目名	高齢者福祉論			科目コード	W121-13				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	関 好博					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	高齢者福祉論、社会保障、生活支援技術		後継科目	なし					
関連科目	介護福祉論・、生活支援技術・、社会保障、認知症ケア論・、障害者ケア論・、介護過程、介護過程、介護福祉総合演習								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	介護の対象となる高齢者・障害者の特性、介護実践の場の特性を踏まえて、高齢者を支援する組織と役割、高齢者支援の方法と実際について学習する。								
学習目標	高齢者保健福祉制度を体系的に把握し、介護保険制度の基本的理解やサービスの体系について習得する								
キーワード	高齢者支援組織 高齢者支援方法 介護予防								
テキスト・ 参考書等	社会福祉士要講座編集委員会 「高齢者に対する支援と介護保険制度」 新・社会福祉士養成講座13 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	高齢者の特性や現代社会における高齢者の生活実態について考察でき、高齢者保健福祉制度に影響を及ぼした社会的要因を探り、介護保険制度を中心とした高齢者支援内容を理解できる								
LO-2									
LO-3	グループで意見交換することで高齢者支援に対する視点を共有し、高齢者福祉制度の内容について理解できる								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	90				10				100
LO-1	70								70
LO-2									
LO-3	20				10				30
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	少子高齢社会と高齢者 少子高齢社会の要因や人口高齢化の地域格差、家族の状況 高齢者を取り巻く諸問題について	
	【予習】テキスト P 30から P 60まで読んでくる	90分
	【復習】少子高齢化の問題点、高齢者の健康・介護・経済等生活の諸問題について復習する	90分
第2回	高齢者保健福祉の起源と生成 高齢者の定義と、高齢者福祉の歴史について	
	【予習】テキスト P 62から P 76まで読んでくる	90分
	【復習】高齢者福祉についての歴史を復習する	90分
第3回	高齢者保健福祉制度の発展 昭和から平成における高齢者福祉について	
	【予習】テキスト P 77から P 85まで読んでくる	90分
	【復習】高齢者保健福祉政策の理念の変化についてまとめる	90分
第4回	高齢者支援の関係法規 老人福祉法・高齢者の医療の確保に関する法律	
	【予習】テキスト P 88から P 107まで読んでくる	90分
	【復習】老人福祉法・高齢者の医療の確保に関する法律成立の経緯・背景、構成、内容など理解する	90分
第5回	高齢者支援の関係法規 高齢者虐待防止法	
	【予習】テキスト P 108から P 116まで読んでくる	90分
	【復習】高齢者虐待防止法成立の背景と枠組み、特徴について学びを深める	90分
第6回	高齢者の支援の関係法規 高齢者の権利擁護とネットワーク	
	【予習】テキスト P 121,122を読んでくる	90分
	【復習】権利擁護と成年後見制度について理解する	90分
第7回	高齢者の支援の関係法規 バリアフリー新法、高齢者の居住の安定確保に関する法律等	
	【予習】テキスト P 117から 124まで読んでくる	90分
	【復習】バリアフリー法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、社会参加と生涯学習について理解する	90分
第8回	介護保険制度の基本的枠組み	
	【予習】テキスト P 126～P 154まで読んでくる	90分
	【復習】介護保険制度の目的と理念、保険財政、保険者と被保険者、介護保険の最近の動向について学びを深める	90分
第9回	介護保険制度のしくみ 要介護認定の仕組みとプロセス、介護報酬について	
	【予習】テキスト P 156から P 156まで読んでくる	90分
	【復習】要介護認定の仕組みについて理解し、保険給付、介護報酬の内容について理解する	90分
第10回	介護保険制度の仕組み 地域支援事業、介護保険事業計画など	
	【予習】テキスト P 169から P 182まで読んでくる	90分
	【復習】地域支援事業、介護保険事業計画と、介護サービスの質を確保するための仕組みについて理解する	90分

第11回	介護保険サービスの体系 介護保険サービスにおける専門職の役割と実際 居宅・施設サービスについて	
	【予習】テキストP184からP200まで読んでくる	90分
	【復習】介護支援専門員、訪問介護員、介護職員などの役割と実際を知り、居宅サービス、施設サービスについての理解を深める	90分
第12回	介護予防サービス、地域密着型サービスについて	
	【予習】テキストP201からP210まで読んでくる	90分
	【復習】介護予防の考え方、サービス内容と地域密着型サービスについて理解を深める	90分
第13回	高齢者を支援する組織と役割 行政機関の役割・指定サービス事業者・国民健康保険団体連合会の役割	
	【予習】テキスト第8章 P214～P224まで読む	90分
	【復習】国・都道府県・市町村の組織と、指定サービス事業者、国民健康保険団体連合会が介護保険制度等との関わりの具体的内容について理解する	90分
第14回	高齢者を支援する組織と役割 地域包括支援センターの組織体系と役割	
	【予習】テキスト 第8章 P225～P233まで読む	90分
	【復習】地域包括支援センターの活動の実際を理解し、運営組織や地域包括ケアの役割について深く理解する	90分
第15回	高齢者を支援する組織と役割 社会福祉協議会とボランティア団体・非営利民間活動	
	【予習】テキスト第8章 P234～P247まで読む	90分
	【復習】社会福祉協議会やボランティア団体と地域住民との協働の必要性和地域社会の仕組みについて理解を深める	90分